

## 登録期間が満了した技術一覧

番号	旧登録番号	技術名称	技術区分	技術の概要	会社名	登録期間
1	26-001-3	太平洋ハイパーエキスパン	建設・更新	コンクリートに発生する様々なひび割れ、特に収縮ひび割れ、温度ひび割れを低減する目的で開発されたコンクリート混和材。従来は生コンクリート1m <sup>3</sup> に対し30kgを添加する膨張材であったが、改良により20kg添加で従来膨張材と同等の性能を持つ低添加型膨張材である。経済性も20%ほど向上し、高耐久性を求めたコンクリート構造物全般に適用ができる。	太平洋マテリアル株式会社 中国支店	H27/3～ H30/3
2	26-011-3	斜角門形カルバート	建設・更新	①斜角対応型プレキャスト門形カルバートは、維持更新を必要とする短スパン橋梁を、斜角60度以上の現地形に即応し、安価、短期間での架け替えを目的として開発された。この技術により、工期短縮がはかれ交通・歩行者への影響が最小限となり、河川・水路に対しては通年施工が可能となる。 ②従来は現場打ちによる門形カルバート ③橋長10m以下の小規模橋梁の架け替え、新設、歩道橋の設置、拡幅工事に適用可能である。	共和コンクリート工業株式会社	H27/3～ H30/3
3	26-014-3	HSLスラブ工法	建設・更新	本技術は、高強度軽量プレキャストPC床版を用いた道路橋RC床版の取換え工法で、新設橋への適用も可能。従来は、普通コンクリートを用いた床版に取換えられていた。本技術は、従来のプレキャストPC床版と比較し床版自重を約20%軽減できる。本技術の活用は、耐久性を確保しつつ、鋼主桁及び下部工の死荷重負担を軽減することが期待でき、B活荷重対応や拡幅などの機能向上に対して有効である。	株式会社IHIインフラ建設	H27/3～ H30/3
4	26-019-3	エマルテックSAMI工法	建設・更新	①舗装補修(維持・修繕)において、リフレクションクラック抑制・遮水層・基層保護を目的に開発し、効果として舗装の延命化が期待できる常温型のじょく層工法。 ②従来は、リフレクションクラック抑制(ひび割れ対策)無しの切削オーバーレイ工事 ③アスファルト舗装工事における補修(維持・修繕)工事	ニチレキ株式会社	H27/3～ H30/3
5	26-021-3	鉄筋腐食抑制工法「プロテクトシルCIT」	補修・補強	プロテクトシルCITは、コンクリート表面に塗布することにより、コンクリート表層部に吸水防止層が形成され、塩化物イオン等の劣化因子侵入阻止する性能を保持し、かつ、コンクリート中に深く浸透することで、鉄筋に不動態皮膜にかわる保護層を形成するため、断面修復部の再劣化と、その周辺部で補修効果を高める技術である。	ポゾリス ソリューションズ株式会社	H27/3～ H30/3
6	26-024-3	チタングリッド工法	補修・補強	塩害劣化したコンクリート構造物の対策工法で鋼材腐食を抑制する工法。 従来は塩化物イオンを含んだコンクリートをはつりとり、断面修復した後にコンクリート表面を樹脂などで塗装していたが、鋼材腐食を抑制することはできなかった。 大気中に建設された塩害劣化したコンクリート構造物に適用できる。	株式会社ピーエス三菱	H27/3～ H30/3
7	26-025-3	PCコンファインド工法	補修・補強	①目的:既設RC橋脚の耐震補強を目的に開発、高強度のPC鋼材を帯鉄筋に用いることで耐力と変形性能を向上し、じん性に優れた構造とする効果が期待できる。 ②従来技術:鉄筋コンクリート巻立て工法 ③適用箇所:陸上部、及び河川内に位置する既設RC橋脚	株式会社ピーエス三菱	H27/3～ H30/3
8	27-001-3	エルライター	建設・更新	現在広島県で使用されている可変式道路情報板の白熱電球を使用しているものは年間数回にわたり球切れに伴う交換作業が発生する。そこで長寿命で、しかも消費電力が少ない(1/3程度)LED(発光ダイオード)を使用した交換用電球を開発した。通常、ランプ駆動方式は、トライアックにて点灯制御を行っており、トライアックのトリガは交流電圧のゼロクロスポイントから約1ms後に出力され、その際トライアックの両極は1.6V以上の電圧が存在した場合トライアックはONします。また、両極に流れる電流が1mA以下になるとトライアックはOFFになります。また、監視については、交流電圧波形の負の半波側側で行っており、点灯データがある場合、監視データが出力され、それをCPUがタイミングを計って読み込み、成否判定を行っています。このランプ駆動方式をLEDで克服したところが技術の要点である。	株式会社荒川	H27/10～ H31/3
9	27-005-3	LB工法	補修・補強	①従来技術は騒音、振動、水質汚濁、長時間施工による交通渋滞、施工後短期間で破損に至る問題を抱えており、LB工法はこれらの問題を解消するために開発された、カッターを使用しない国内初の「円形せん断」によるマンホール蓋取り替え・高さ調整工法。 ②従来技術は舗装部を矩形に切断、ブレーカーやバックホウにより舗装部を破砕し、鉄蓋を撤去。新規の鉄蓋をモルタルで固定し、周辺舗装部を一般舗装材料、施工方法にて復旧。(場合によって表層部の仮復旧を数日掛けて養生し、後日に本復旧する) ③上下水道、情報ボックス、電気、通信等の鉄蓋全般の交換工事や、高さ調整の工事に適用できる	全国LB工法協会	H27/10～ H31/3
10	27-008-3	MR2工法	補修・補強	①機械円形せん断工によるマンホール上部の調整・修繕技術で、仮復旧が不要で低騒音・低振動に補修できるようにすることを目的に開発した。 ②従来は、仮復旧と本復旧の2日工程作業で、カッターやブレーカ等で方形に人力で開削して行っていた。 ③マンホール上部の調整・修繕工事、また、道路舗装工事に際して、マンホールの撤去・再設置工事に適用できる。	ニチレキ株式会社	H27/10～ H31/3

- ・過去に登録されていた技術のうち、掲載の要望があった技術について掲載しています。
- ・NETISの掲載期間が終了した等、登録要件を満たさなくなり登録から抹消されましたが、長寿命化に関して有用な技術として参考掲載しています。
- ・掲載されている技術に関する情報は、広島県長寿命化技術活用制度の登録期間満了時の情報です。

## 登録期間が満了した技術一覧

番号	旧登録番号	技術名称	技術区分	技術の概要	会社名	登録期間
11	26-010-3	多機能フィルター	建設・更新	特殊なポリエステル性撥水性繊維のフィルター層から成るマットで降雨による侵食を防止し、長期にわたり植物の生育環境を維持することにより、在来植物による近自然緑化を容易に実現できる技術です。公共工事において従来は植生基材吹付工や植生マット工で対応されてきた、道路、ダム、災害復旧関連の切土法面、盛土法面及び自然斜面における植生工と侵食防止に適用できます。	多機能フィルター株式会社	H27/3～ R2/3
12	26-013-3	道路舗装人孔鉄蓋後付工法「エボ工法」	建設・更新	従来工法は鉄蓋設置後、擦り付け舗装を行っていた為に平たん性の確保が図りづらかったが、施工手順・工法の見直し、塑性変形しにくいエポキシ系コンクリートを使用する手法により出来上がった舗装に合わせて鉄蓋を設置・調整することにより、大幅に平たん性が改善される技術(使用用途は交通量の多い幹線道路、準幹線道路)	株式会社ハネックス・ロード	H27/3～ R2/3
13	26-020-3	タフガードQ-R工法	補修・補強	①塗膜を塗るだけでコンクリート片の剥落防止を抑えるとともに、伸びる塗膜で劣化因子の遮断を可能とする工法 ②特徴:工期・工程短縮, コストダウン, 環境配慮, 責任施工, すぐれた塗膜性能, すぐれた施工性 ③施工部位: 跨線橋, 跨道橋, 橋脚, 橋梁地覆, 梁, カルバートボックス ④主な実績: 鈴が峯陸橋, 三滝橋, 翠橋, 尾道大橋	日本ペイント株式会社	H27/3～ R2/3
14	26-036-3	ショーボンドハイブリッドシート工法	補修・補強	①工場製作した特殊ラミネートシート(繊維シート+高耐候性フッ素フィルム)を既設コンクリートに貼り付けることで、工程短縮とコスト削減, 安定した品質, 耐候性向上で長寿命化が図れる。 ②コンクリート浮き部のはつり+モルタル復旧。 ③跨線橋, 立体交差部等のコンクリート片のはく落により、第三者被害の発生が懸念される部位。	ショーボンド建設株式会社	H27/3～ R2/3

- ・過去に登録されていた技術のうち、掲載の要望があった技術について掲載しています。
- ・NETISの掲載期間が終了した等、登録要件を満たさなくなり登録から抹消されましたが、長寿命化に関して有用な技術として参考掲載しています。
- ・掲載されている技術に関する情報は、広島県長寿命化技術活用制度の登録期間満了時の情報です。